

一般質問



# 子どもの居場所づくり・道路整備について



会派 きずな ● 藤川 みゆき 議員

**子ども居場所について**

**問** 子どもの居場所の一つ、子ども食堂について当局の見解は。

**答** 子ども食堂は子どもたちの育ちへの支援、子どもの貧困対策や地域交流の拠点として重要な役割を果たしていただいています。子ども食堂が継続的な運営が行える仕組みの構築、また新たに支援したいという団体などの想いの芽生えを増やすこと、官民が連携し、共有を深めることが行政の担う役割として求められていると考えています。

**問** 子ども食堂に助成金を出している自治体もあり、予算措置に對しての当局の考え方は。

**答** こどもまんなか社会の実現で、子どもの居場所、特に子ども食堂の運営に係る財源も一定用意されていると考えています。効果的に居場所の支援を行う

観点で、どのような制度設計が良いか、整理したいと考えています。

**道路整備について**

**問** 下田大谷の交差点から竜王、野洲に延びる「仮称」野洲竜王湖南広域幹線道路が県の「道路整備アクションプログラム2023」に掲載されました。進捗をお尋ねします。

**答** 隣接する自治体との広域連携のため、野洲・湖南・竜王総合調整協議会があり、その活動の一つとして平成21年度から要望してきました。令和3年度に可能性を再検討し、「仮称」野洲竜王湖南広域幹線道路を県道として整備するよう要望した結果、今後の道路ネットワーク整備に向けた検討路線に位置づけられました。引き続き、議論、要望活動を行っていきます。



# 戦没者慰霊碑（忠魂碑）の見守りについて



無会派 ● 松原 栄樹 議員

**問** 戦没者慰霊（碑）に対する市の見解は

**答** まず、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対して謹んで哀悼の誠を捧げます。

市の平和に対する認識ですが、今、わたしたちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、尊い命を捧げられた御霊のご加護と多くの悲しみや困難を乗り越えてこられたご遺族の皆さまをはじめとする先人の方々が、戦争のない平和な世の中を後世に築こうという強い願いを持ち、多大なご尽力をいただいた賜物であるという認識でございます。

**問** 戦没者遺族会について

**答** 戦後78年が経過し、ご遺族の高齢化が進み、市町村単位で解散の動きも出ており、本市遺族会も本年6月に解散されたと同っています。

**問** 市の戦没者に対する対応及び方針について

**答** 戦争を知らない世代が大半となった中、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に引き継ぐとともに、誰もが安心して暮らせる湖南市を未来に引き継いでいかなければならないと考えています。

**問** 慰霊碑（忠魂碑）の見守りについて

**答** 遺族会は解散されましたが、遺族会清算委員会を残しておられるとのこと、清算委員会が新たな管理者を見つけれらるか、他自治体の動きとか、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に引き継ぐことが、今を生きる我々の課せられた責務であるとの自覚をもって、清算委員会の方と相談・協議をしながら検討したいです。